

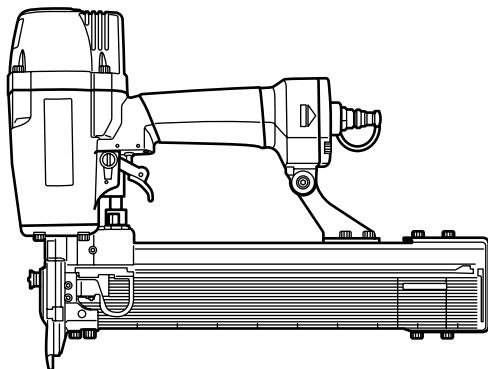
# Makita

ヒューマンハードウェアのマキタ  
人の暮らしとすまいのために……

## 取扱説明書

## エアタッカ

モデル AT2238  
AT1638  
AT938



このたびは**エアタッカ**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。  
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。  
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



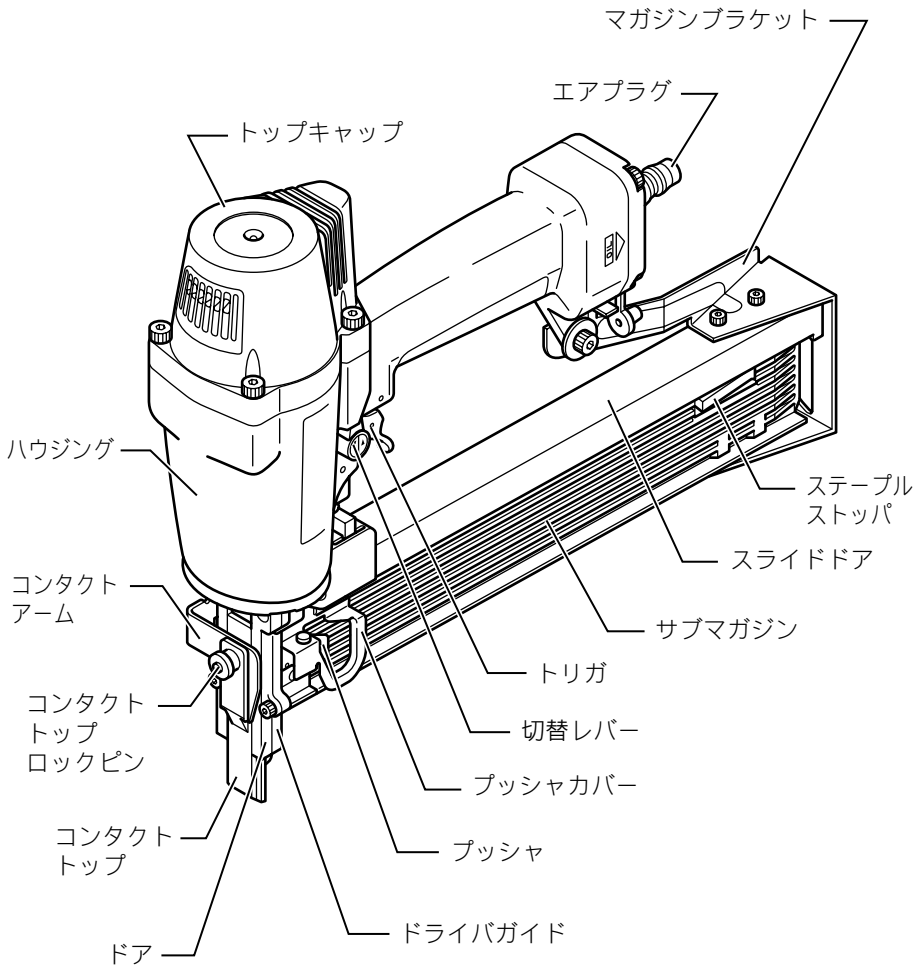
本機の取扱いにあたって、エアタツカを能率よく、安全にお使いいただくため、取扱説明書は最後までお読みいただき、使用上の注意事項、本機的能力、使用方法などについて充分理解の上、正しく御使用くださるようお願いいたします。

<b>△警告</b>	この表示は記載事項に従わないと人身事故につながる可能性がある場合を示します。
------------	--

<b>△警告</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 使用前に必ず取扱説明書を読む。</li> <li>● 必ずセーフティゴーグル（保護メガネ）を着用して使用する。</li> <li>● 安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。</li> <li>● 使用しない時、また、調整・修理・連結釘装填の時は必ずエアホースをはずす。</li> <li>● 射出口を絶対に人体に向けない。</li> <li>● 移動する際は必ずエアホースをはずす。</li> <li>● エアホースを接続する際は絶対にトリガ（引金）に触れない。コンタクトアームに触れない。コンタクトアームを押さない。</li> <li>● エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。</li> <li>● 揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。</li> <li>● 異常を感じたら絶対に使用しない。</li> </ul>	

- この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管して下さい。
- 本機の仕様は性能向上のため、予告なしに変更することがあります。

<b>目 次</b>	
各部の名称	3
製品仕様	4
使用ステープルの種類	4
標準付属品	5
使用前の準備	6
エアタツカを安全に使用するために	7
使用法	14
使用後の保守・点検	16



## 2

## 製品仕様

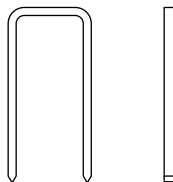
寸法 (長さ)	374mm
(幅)	82mm
(高さ)	280mm
質量	2.4kg
装填本数	150 本 (50 本× 3 連)
使用空気圧 (手元レギュレータゲージ圧)	0.44 ~ 0.69MPa (4.5 ~ 7.0kgf/cm <sup>2</sup> )
使用オイル	タービン油 (JIS2 種 ISOVG32)
エアースペース内径 (長さ 30m 以内)	6.5mm 以上

## 3

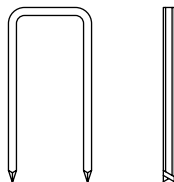
## 使用ステープルの種類

### ⚠警告

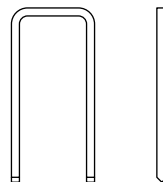
エアタッカの故障や事故をさけるため、必ず弊社純正のステープルをお使いください。



チゼルポイント



ダイバージェント  
チゼルポイント



SCポイント

AT938 使用ステープル		
先端形状	長さ (mm)	部品番号
SCポイント	20	F-80622
	23	F-80635
	25	F-80648
	28	F-80651
	32	F-80664
	38	F-80677

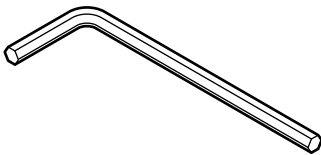
AT1638 使用ステープル		
先端形状	長さ (mm)	部品番号
チゼル ポイント	13	F-80680
	16	F-80693
	19	F-80709
	22	F-80712
	25	F-80725
	32	F-80738
	38	E-80741

AT2238 使用ステーブル		
先端形状	長さ (mm)	部品番号
ダイバージェント ポイント	13	F-80754
	17	F-80770
チゼルポイント	17	F-80767
	19	F-80783
	25	F-80796
	38	F-80802

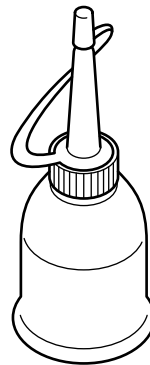
## 4

## 標準付属品

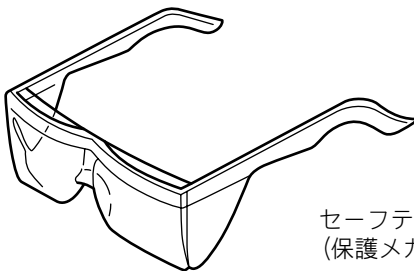
- ①油サシ ----- 1 本
- ②六角棒レンチ 3 ----- 1 本
- 4 ----- 1 本
- ③セーフティゴーグル (保護メガネ) ----- 1 個



六角棒レンチ 3、4



油サシ



セーフティゴーグル  
(保護メガネ)

エアタッカを安全に作業するために

**⚠ 警告**

**エアホース**

内径 6.5mm 以上のエアホースを 30m 以内でお使いください。

**給油**

付属の油サシにて作業の前後にエアプラグより、タービン油を 2、3 滴 (0.1cc) 注入してください。給油を怠るとエアタッカの寿命が短くなるばかりか、故障や事故の原因になりますので、必ず行ってください。

**空気圧**

空気圧の強弱はステーブルの長さ、ステーブルが打たれる対象物の木質によって異なります。このエアタッカの使用圧力範囲は手元レギュレータゲージ圧で 0.44MPa ~ 0.69MPa (4.5kgf/cm<sup>2</sup> ~ 7.0kgf/cm<sup>2</sup>) です。

対象物の木質により、この範囲内に調整してお使いください。

## 6 エアタッカを安全に使用するために

### ⚠ 警告

1. 作業関係者以外近づけない。

作業する場合には、作業者以外の人を近づけないでください。

2. 作業環境に応じた防具を着用のこと。

作業環境に応じて、ヘルメット、安全靴等の防具を着用してください。

3. 正しい服装で安定した姿勢で作業をする。

作業に適した服装で作業をしてください。又、無理な姿勢での作業は危険です。常に足場をかため、身体の安全を保って作業をしてください。

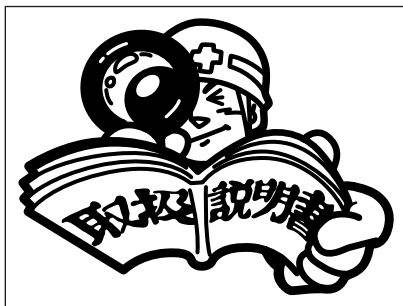
4. 作業に入る前に必ず始業点検を行う。

各部のナット、スクリーボルト、ストップリング等の締め金が緩んでいないか、その他部品がはずれたり傷んだりしていないかを点検してください。いずれの部品も、それぞれ大切な役目を果たしております。はずれたり、傷んでいると故障したり、思わぬ事故を起こしますので、充分注意して点検してください。

5. 給油及び圧力点検をする。

指定の圧力より低いと、エアタッカの機能を果たしません。又指定の圧力を越えるとエアタッカの寿命を早めたり、危険が生じます。

給油は、作業の前後にエアタッカのエアプラグより、付属の油サシでタービン油 (JIS2種 ISOVG32) を 2、3 滴 (0.1cc) 注入してください。



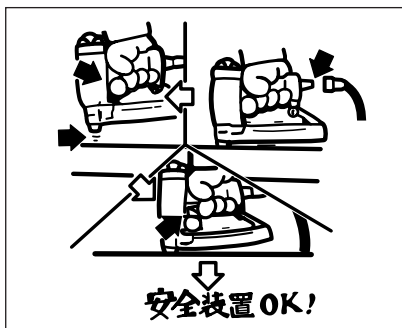
## 6 エアタッカを安全に使用するために

### ⚠ 警告

6. 安全装置（コンタクトアーム）が適確に作動するか点検し、作動しない場合は、使用しない。

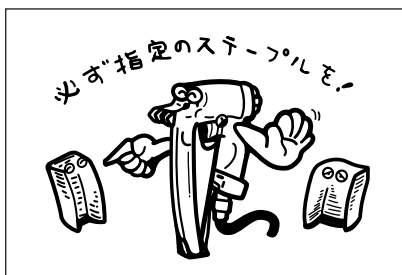
下記の現象が発生した場合は、使用しないで下さい。

- トリガ（引金）を引いただけで作動する。
- 安全装置を押し付けただけで作動する。



7. 必ず当社指定のステープルを使用する。

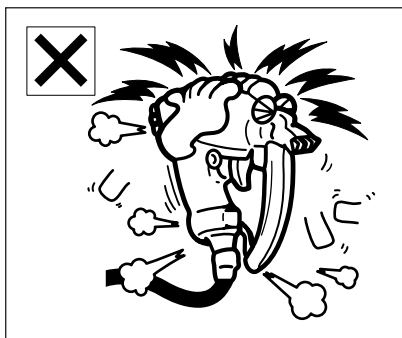
当社以外のステープルを使用しますと、故障や事故の原因になりますから、必ず指定のステープルを御使用ください。尚、保管状態の悪いものは、使わないようにしてください。



8. エアもれや異常音がないかを確認する。

エアホースを接続したら、まず各部にエアもれが無いかを確認してください。

次にステープルを打込んでください。ステープルが曲がったり、異常音が発生したりしないかを確認してください。エアもれのある機械や、その他異常のある機械は絶対に使わないでください。

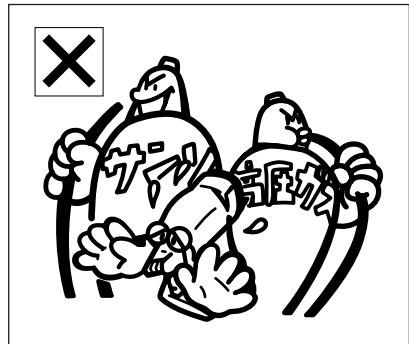




## 6 エアタッカを安全に使用するために

### ⚠ 警告

9. 動力源は必ず圧縮空気を使用する。  
圧縮空気を動力源として使用し、酸素ポンベや高圧ガスポンベは絶対に使用してはいけません。使用するとエアタッカが爆発する恐れがあります。



10. 作業現場は整理、整頓をして特に足元の整理に注意を払う。  
屋外作業で足場を使つての高所作業では、足場の安全性を確認してから作業を行ってください。又、作業をする場所の照明は充分に明るくしておいてください。



11. 作業中は常にセーフティゴーグル（保護メガネ）を着用する。  
粉塵や、万一打ち損じたステーブルがはね返り、目に入ると危険ですから、作業をする本人だけでなく周囲で作業をしている人も、必ずセーフティゴーグル（保護メガネ）を着用してください。



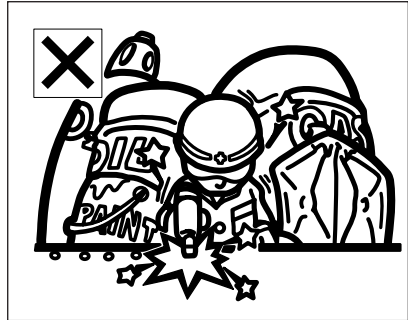
12. 防音保護具を着用する。  
作業をする場合、排気音や排気エアから耳を守るため作業環境に応じて防音保護具（耳栓等）を着用してください。

## 6 エアタッカを安全に使用するために

### ⚠ 警告

#### 13. 危険物の近くでは作業をしない。

ステーブル打込み時に火花が飛散することがありますので、ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス類、接着剤等、引火あるいは爆発の恐れがある物質の近くでは、絶対に作業をしてはいけません。



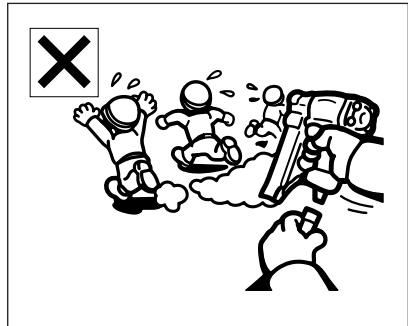
#### 14. 射出口には、絶対に手を近づけないこと。また材料を手で支える時は充分注意する。

やむを得ず材料を手で支えなければならぬ時は、射出口付近から離し、かつ充分安全な場所を支えるようにすること。



#### 15. エアホース接続時は必ず下記を厳守する。

- トリガ（引金）に触れない。
- コンタクトアーム（安全装置）及びコンタクトトップに触れない。
- コンタクトアーム（安全装置）及びコンタクトトップを押し付けない。
- 射出口を人体に向けない。



## 6 エアタッカを安全に使用するために

### ⚠ 警告

#### 16.移動する際は必ずエアホースをはずす。

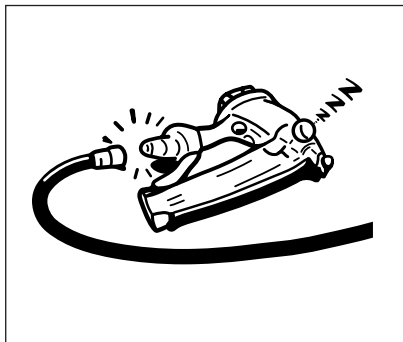
エアホースを接続した状態でトリガ（引金）を引いたまま本機を持ち歩いたり、手渡し等をする、誤って発射することがあり、思いがけない事故につながりますので移動する際はエアホースをはずしてください。



#### 17.エアタッカを使用しない時は必ずエアホースをはずす。

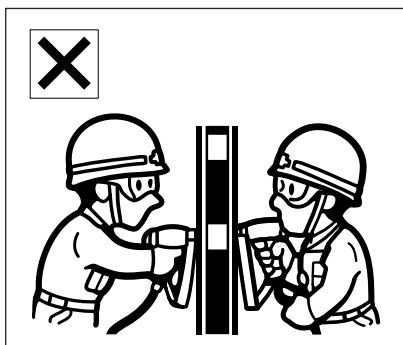
#### 18.作業中断時は必ずエアホースをはずす。

作業中のステープル装填、調整及びステープルづまりを除去するとき、誤ってステープルを発射すると危険ですので、エアホースをはずしてください。



#### 19.射出口を向け合っの作業はしない。

相手の姿が見える場合はもちろん、見えない場合でも両側から向かい合っの同時打ちは大変危険です。



## 6 エアタッカを安全に使用するために

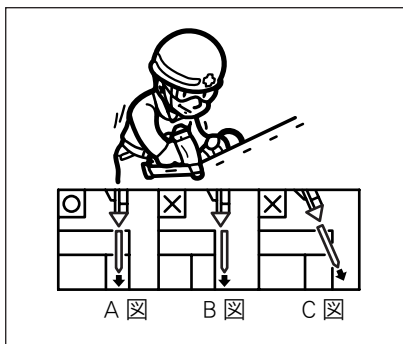
### ⚠ 警告

#### 20. 縁を打つ場合の位置、方向に注意する。

A図のように対象物に対して、垂直に押し付けられた状態を確認し、打ち込んでください。

#### 21. 機体の反動に注意する。

作業中はエアタッカの上方に顔などを近づけないようにする。一度打ったステーブル、堅い木や節などを打つと機体が強く反動しますので、注意してください。



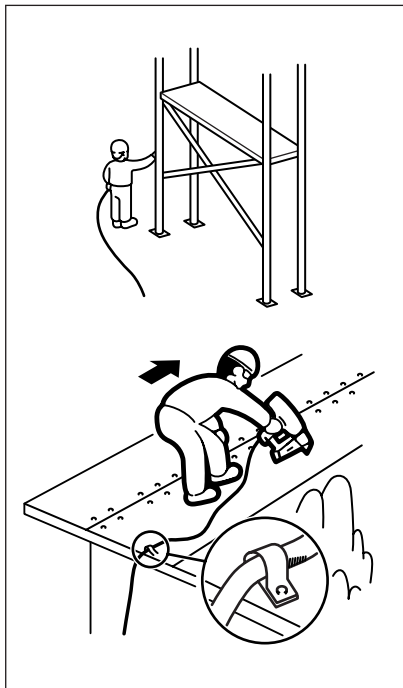
#### 22. 作業中、エアタッカに異常が発見されたら、ただちに使用を中止する。

エアもれ、異常音、打込み不良、その他通常の時と違った現象が確認されたら、ただちに使用を中止し、点検・修理を受けてください。

#### 23. 安全装置（コンタクトアーム）は絶対に改造したりしない。

#### 24. 高所で作業をする場合、次のことを注意する。

- 足場を使って作業をする場合、足場の安全性を充分確認して、作業をしてください。
- エアホースは作業をする場所の近くに固定してください。これは、エアホースが引掛かったり、引っ張られたりすると反動で身体の安定を欠くことになり危険です。
- 屋根などの傾斜面での釘打作業は、下から上に向かって前進しながら行ってください。後退しながら作業をすると、足を踏みはずす恐れがあります。



#### 25. エアタッカの改造は厳禁。

## 6 エアタッカを安全に使用するために

### ⚠ 警告

#### 26.直射日光はさける。

エアタッカ、エアコンプレッサ、エアホースなどを、長時間直射日光のあたる場所に放置しないでください。

#### 27.使用後の注意事項

使用した後は、エアホースをはずし、ステーブルを抜きとり、エアプラグからタービン油 (JIS2 種 ISOVG32) を 2、3 滴 (0.1cc) 注入してください。常温の乾燥した場所に保管してください。

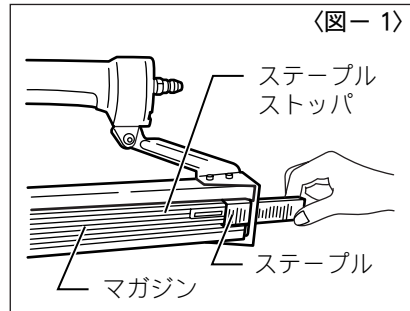
## △警告

ステープル装填時はエアホースを必ずはずす。

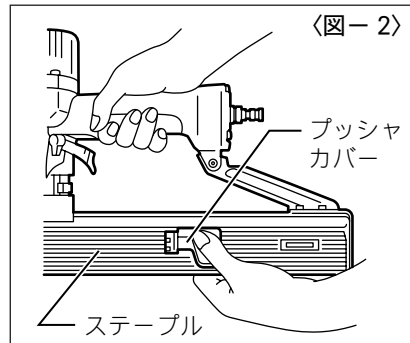
使用前に本機とエアコンプレッサを接続しないで使い方を覚えてください。

## ステープルの入れ方

1. ステープルをマガジン後方から、ステープルストップの見える位置まで入れます。ステープルは最大3連(150本)まで入ります。〈図-1〉
2. 前方にあるプッシュカバーをマガジン後端まで引っ張り、静かに戻します。



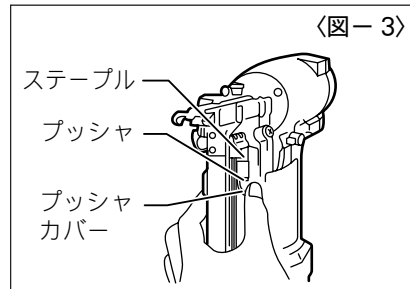
3. プッシュカバーを戻す際、プッシュを押したまま行きますと、ステープルがセットされません。装填はプッシュを押さずに行ってください。〈図-2〉
4. プッシュカバーは急に放しますと、プッシュが急激に戻り、ステープルが変形したり、ばらばらになったりして、ステープルづまりの原因になります。また機械の故障の原因にもなります。プッシュカバーは必ず静かに戻してください。



## ⚠警告

## ステープルの抜き取り方

1. エアホースをはずします。
2. マガジン後端を下にして、プッシュカバーを少し引きながら左右のプッシュを押し、ステープルを後方にずらして、プッシュベースを静かに前方へ戻してください。〈図-3〉
3. ステープルストップを押して、ステープルを抜き取ってください。

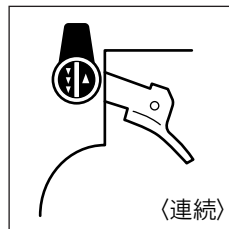
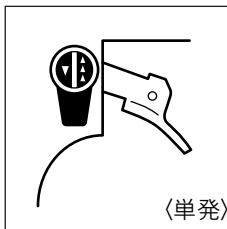
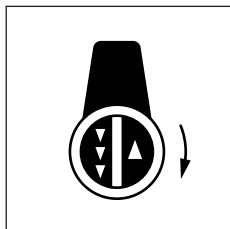


## 連続打ち、単発打ちへの切り替え方法

## ⚠ 警告

このエアタックは連続式、単発式両方の打ち方ができます。連続式は、引金を引いたまま、コンタクトアームを連続的に押し付けるだけで発射しますから、スピードを要する作業に適しています。単発式はまず打とうとする部材にコンタクトアームを押し付けてから引金を引く方法で、正確且つ安全な方法です。連・単の切り替えは、切替レバーを 180 度回転させます。

フローリングで使用するときには必ず単発式を使用してください。その他の作業時で連続的に打つ場合は連続式を使用してください。



1. 本機には空打防止機能が付いていますので、空打による無駄な作業や、ステープルの残り本数を確認する必要がありません。
2. ステープルの残りが約 5 本になりますと、発射しません。続けて御使用になる場合は、ステープルを補充してください。

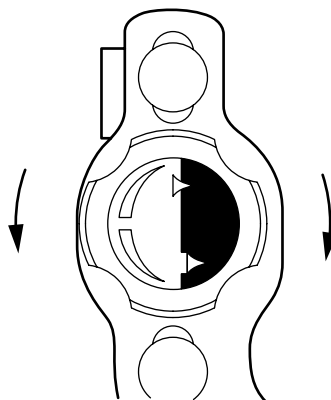
## 打込み深さ調整

打込み深さの調整はコンタクトアームのアジャスタで行います。

アジャスタを時計回り方向に回すと打込みが浅くなります。

アジャスタを逆時計回り方向に回すと打込みが深くなります。

調整の範囲は約 5 ミリです。

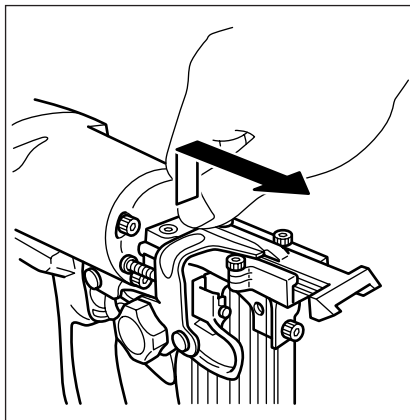


## ⚠警告

ステーブルづまりの際エアホースを必ずはずす。

**ステーブルづまりの取り方**

ステーブルづまりがおこったら必ずエアホースをはずしてください。次にステーブルを取り除いてください。ドアの4本の取付ボルトをゆるめてください。そしてコンタクトトップピンをもち上げてコンタクトトップを外してつまったステーブルを除去してください。

**エアプラグキャップ**

エアホースを取り外した時には、エアプラグの根元に取付けられているエアプラグキャップをはめ込んで、砂やほこり、雨水等がエアタッカの内部に入らないようにしてください。

**使用後の清掃**

使用した後は、ホースをはずし、ステーブルを抜きとり、エアプラグからタービン油 (JIS2 種 ISOVG32) を 2、3 滴 (0.1cc) 注入してください。常温の乾燥した場所に保管してください。

**エアコンプレッサ等の水抜き**

作業が終わったらエアコンプレッサの電源を切り、ドレンコックを開いて、タンク内の残圧によって溜った水を抜いてください。特に湿気の多い季節は想像以上に水が溜ります。作業後は毎日、水抜きを行ってください。

**残りステーブルの保管**

残ったステーブルはステーブルケースに納め、安全で常温の乾燥した場所に保管し、ステーブルケースの上に他の品物を乗せないようにしてください。





△警告

この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

Handwriting practice area consisting of 20 horizontal dashed lines.

Handwriting practice area consisting of 20 horizontal dashed lines.

# 全国に広がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号	事業所名	電話番号	事業所名	電話番号
札幌支店	(011) (783) 8141	東京支店	(03) (3816) 1141	大阪支店	(06) (6351) 8771
札幌営業所	(011) (783) 8141	東京営業所	(03) (3816) 1141	大阪営業所	(06) (6351) 8771
旭川営業所	(0166) (29) 0960	中野営業所	(03) (3337) 8431	東大阪営業所	(06) (6746) 7531
釧路営業所	(0154) (37) 4849	足立営業所	(03) (3899) 5855	関西物流センター	(0725) (46) 6715
函館営業所	(0138) (49) 9273	大田営業所	(03) (3763) 7553	南大阪営業所	(0725) (46) 6611
苫小牧営業所	(0144) (68) 2100	江戸川営業所	(03) (3653) 5171	奈良営業所	(0742) (61) 6484
帯広営業所	(0155) (36) 3833	多摩営業所	(042) (384) 8411	橿原営業所	(0744) (22) 2061
北見営業所	(0157) (26) 9011	立川営業所	(042) (542) 1201	和歌山営業所	(073) (471) 4585
仙台支店	(022) (284) 3201	横浜支店	(045) (472) 4711	田辺営業所	(0739) (25) 1027
仙台営業所	(022) (284) 3201	横浜営業所	(045) (472) 4711	沖繩営業所	(098) (874) 1222
古川営業所	(0229) (24) 0698	川崎営業所	(044) (811) 6167	兵庫支店	(0794) (82) 7411
青森営業所	(017) (764) 4466	平塚営業所	(0463) (54) 3914	三木営業所	(0794) (82) 7411
八戸営業所	(0178) (43) 3321	相模原営業所	(042) (757) 2501	尼崎営業所	(06) (6437) 3660
盛岡営業所	(019) (635) 6221	湘南営業所	(0466) (87) 4001	神戸営業所	(078) (672) 6121
水沢営業所	(0197) (22) 5101	静岡支店	(054) (281) 1555	姫路営業所	(079) (281) 0204
郡山営業所	(024) (932) 0218	静岡営業所	(054) (281) 1555	広島支店	(082) (293) 2231
いわき営業所	(0246) (23) 6061	沼津営業所	(055) (923) 7811	広島営業所	(082) (293) 2231
福島営業所	(0243) (22) 1204	浜松営業所	(053) (464) 3016	福山営業所	(084) (923) 0960
新潟支店	(025) (247) 5356	甲府営業所	(055) (276) 7212	三原営業所	(0848) (64) 4850
新潟営業所	(025) (247) 5356	金沢支店	(076) (249) 5701	岡山営業所	(086) (243) 4723
長岡営業所	(0258) (30) 5530	金沢営業所	(076) (249) 5701	宇部営業所	(0836) (31) 4345
山形営業所	(023) (643) 5225	七尾営業所	(0767) (52) 3533	徳山営業所	(0834) (21) 5583
酒田営業所	(0234) (26) 3551	富山営業所	(076) (451) 6260	鳥取営業所	(0857) (28) 5761
秋田営業所	(018) (863) 5205	高岡営業所	(0766) (21) 3177	松江営業所	(0852) (21) 0538
宇都宮支店	(028) (634) 5295	福井営業所	(0776) (35) 1911	高松支店	(087) (867) 6411
宇都宮営業所	(028) (634) 5295	岐阜支店	(058) (274) 1315	高松営業所	(087) (867) 6411
小山営業所	(0285) (25) 5559	岐阜営業所	(058) (274) 1315	徳島営業所	(088) (626) 0555
水戸営業所	(029) (248) 2033	多治見営業所	(0572) (22) 4921	松山営業所	(089) (931) 7666
土浦営業所	(029) (821) 6086	松本営業所	(0263) (85) 4751	宇和島営業所	(0895) (22) 3785
関東物流センター	(048) (771) 3451	長野営業所	(026) (225) 1022	高知営業所	(088) (884) 7811
埼玉支店	(048) (777) 4801	上田営業所	(0268) (22) 6362	福岡支店	(092) (411) 9201
さいたま営業所	(048) (777) 4801	飯田営業所	(0265) (24) 1636	福岡営業所	(092) (411) 9201
川越営業所	(049) (222) 2512	名古屋支店	(052) (419) 0561	福岡営業所	(093) (551) 3481
熊谷営業所	(048) (521) 4647	名古屋営業所	(052) (419) 0561	飯塚営業所	(0948) (26) 3361
越谷営業所	(048) (976) 6155	一宮営業所	(0586) (75) 5382	久留米営業所	(0942) (43) 2441
前橋営業所	(027) (232) 5575	東名古屋営業所	(0561) (73) 0072	佐賀営業所	(0952) (30) 6603
高崎営業所	(027) (365) 3688	知多営業所	(0569) (48) 8470	長崎営業所	(095) (882) 6112
岡毛営業所	(0276) (46) 7661	岡崎営業所	(0564) (22) 2443	佐世保営業所	(0956) (33) 4991
千葉支店	(043) (231) 5521	豊橋営業所	(0532) (46) 9117	熊本支店	(096) (389) 4300
千葉営業所	(043) (231) 5521	四日市営業所	(059) (351) 0727	熊本営業所	(096) (389) 4300
市川営業所	(047) (328) 1554	津営業所	(059) (232) 2446	八代営業所	(0965) (43) 1000
成田営業所	(0476) (73) 8101	伊勢営業所	(0596) (36) 3210	大分営業所	(097) (567) 3320
木更津営業所	(0438) (23) 2908	京都支店	(075) (621) 1135	宮崎営業所	(0985) (26) 1236
柏営業所	(04) (7175) 0411	京都営業所	(075) (621) 1135	鹿児島営業所	(099) (267) 5234
		福知山営業所	(0773) (23) 7733	沖繩営業所	大阪支店の欄をご覧ください。
		大津営業所	(077) (545) 5594		
		彦根営業所	(0749) (22) 6184		

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)

882454-1